

薬物使用障害者にMATとして使用される薬剤には、抗HIV薬との相互作用が認められるものがある

● ブプレノルフィン

- 投与は外来で行えるが、認定資格が必要である。
- いくつかの抗HIV薬およびフルコナゾールと臨床的に意義のある相互作用が生じる。

● メサドン

- 処方するクリニックは登録が必要である。
- 抗HIV薬およびHIV感染者の集団に対して使用されることが多い他の薬剤（カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、リファンピシン、フルコナゾール）との臨床的に意義のある有害な相互作用がいくつか生じる。

● Naltrexone

- オピオイドを投与している患者には使用できない。

University of Liverpoolが提供する「Liverpool HIV Interactions」のウェブサイトから、抗HIV薬と違法薬物との相互作用に関する有用な参照ツールを入手することができる。
WWW.HIV-DRUGINTERACTIONS.ORG